

竹内総合会計事務所通信

2010年8月

みなさまの経営のお役に立つ情報を発信します！



TAKEUCHI ACCOUNTING OFFICE
One Stop Management 竹内総合会計事務所

—工場の省エネルギー診断サービス—

製造業の顧問先さま、特に大きな設備の稼働を伴う顧問先さまにおいては電力費の削減というものがコスト削減の中でポイントとなります。

たとえ売上が減少したとしても、設備に関する電力費は比例して下がってはくれません。

現状の経済環境下においては、売上の獲得努力もさることながら、コスト削減(ムダの排除)に知恵を絞り、実行に移すという動きが中小企業の存続のために求められているように感じます。

経済産業省・資源エネルギー庁補助事業の一環として、工場の省エネルギー診断サービスを無料で行っています。いくつか要件はあるようですので、詳しくは下記アドレスでご確認下さい。

<http://www.eccj.or.jp/audit/fct3/index.html>

また弊社経由で工場・事務所を含めた会社全体の光熱費削減を提案・指導しているコンサルタントのご紹介も可能です。

ご興味のある方は弊社までご連絡下さい。(北川)

欄外コーナー(所員紹介) 太田 仁華

竹内総合会計事務所の紹介;

アットホームな事務所です。

趣味;音楽鑑賞

相続税法の改正で平成23年4月1日以後の相続・贈与から「定期金に関する権利」の評価が変わります。個人年金保険は今まで受給期間によって評価金額を下げる事ができましたが、今度の改正により結果としてほとんどの場合に評価額が上がることとなります。生命保険契約等の受給権の権利移動を考えていらっしゃる方は早めにご相談ください。

中小企業白書

先月に引き続き「中小企業白書」についてです。今回は2010年度版白書の一部要点を以下にまとめました。

(第1部) 最近の中小企業の動向

市場回復の動きはあるが、業種・規模により違いがある。アジア輸出に関連する業種や、小企業より中規模企業の方が回復が早い。過去の景気後退と比べると今回は業況が急激に悪化したため、雇用の過剰感が急速に高まったことが特徴である。公的融資の実績では、緊急保証制度は累計で約20兆円、政策公庫は約9兆円であり、その約半分が建設業と製造業である。

(第2部) 中小企業の更なる発展の方策

少子高齢化による労働力不足と全体市場の縮小への対応が重要である。

労働力不足を賄う女性や高齢者の雇用においては、ワークライフバランスの取り組みが大切である。さらに、労働力不足を補うための定着率や生産性の向上には、人材の評価・育成制度の充実が重要である。

全体市場縮小への対応としては、少子高齢化に伴い需要が増加する業種(介護や医療など)の見極めがポイントである。また、国際化(特にアジア市場へのアクセス)も業績拡大の重要な方策の一つである。直接輸出だけではなく、輸出会社との取引による間接輸出でも効果的である。

(まとめ) まだまだ市況は厳しいが、新事業展開や新規創業により課題を乗り越えることにより、更に発展するチャンスがある。

「ピンチをチャンスに」ということみたいです。(柳沢)